

7. 業績目録

欧文業績

953. Holland, P.W.H., Wada, H., Manzanares, M., Krumlauf, R. and Shimeld, S. 2001. The origin of the neural crest. In, Major events in early vertebrate evolution, Taylor & Francis, London, pp. 33-39.
954. Oda, H., Wada, H., Tagawa, K., Akiyama-Oda, Y., Satoh, N., Humphreys, T., Zhang, S. and Tsukita, S. 2002. A novel amphioxus cadherin that localizes to epithelial adherens junctions has an unusual domain organization with implication for chordate phylogeny. *Evol. Dev.*, 4: 426-434.
955. Genzano, G.N. and Kubota, S. 2003. Synchronous mass release of mature medusae from the hydroid *Halocordyle disticha* (Hydrozoa, Halocordylidae) and experimental induction of different timing by light changes. *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 39(4/6): 221-228.
956. O'Dor, R., et al. 2003. The Unknown Ocean, Baseline Report of Census of Marine Life, Consortium for Oceanographic Research and Education, Washington D.C., 33 pp.
957. O'Dor, R. (ed.) 2003. The Unknown Ocean, Research Plan of Census of Marine Life, Consortium for Oceanographic Research and Education, Washington D.C., 48 pp.
958. Thanh, P.D., Wada, K., Sato, M. and Shirayama, Y. 2003. Decorating behaviour by the majid crab *Tiarinia cornigera* as protection against predators. *J. Mar. Biol. Ass. U.K.*, 83: 1235-1237.
959. Urano, A., Suzuki, M.M., Zhang, P., Satoh, N., and Satoh, G. 2003. Expression of muscle-related genes and two MyoD genes during amphioxus notochord development. *Evol. Dev.*, 5: 447-458.
960. Yajima, I., Endo, K., Sato, S., Toyoda, R., Wada, H., Shibahara, S., Numakunai, T., Ikeo, K., Gojobori, T., Goding, C.R. and Yamamoto, H. 2003. Cloning and functional analysis of ascidian Mitf in vivo: insights into the origin of vertebrate pigment cells. *Mech. Dev.*, 120: 1489-1504.
961. Kubota, S. 2004. Some new and reconfirmed biological observations in two species of *Eugymnanthea* (Hydrozoa, Leptomedusae, Eirenidae) associated with bivalves. *Biogeography*, 6: 1-5.
962. Kubota, S. and Buecher, E. 2004. Hydroids and pearls from the mussel *Mytilus galloprovincialis* in SW coast of South Africa. *Biol. Mag. Okinawa*, (42): 17-24.
963. Miyazaki, K. 2004. On the position of genital pores in a sea spider, *Austrodecus tubiferum* (Pycnogonida, Austrodecidae). *Publ. Seto Mar. Biol. Lab.*, 40(1/2): 107-111.
964. Miyazaki, K. and Pass, G. 2004. Morphology of the circulatory system in a sea spider, *Ammothella biunguiculata* (Pycnogonida, Ammotheidae), with special reference to the cephalic region. In, *European Arachnology 2002*, Plant Protection Institute & Berzsényi College, Budapest, pp. 89-92.
965. Kurihara, H. and Shirayama, Y. 2004. Effects of increased atmospheric CO₂ on sea urchin early development. *Mar. Ecol. Prog. Ser.*, 274: 161-169.
966. Kurihara, H., Shimode, S. and Shirayama, Y. 2004. Effects of raised CO₂ concentration on the egg production rate and early development of marine copepods (*Acartia steuerei* and *Acartia erythraea*). *Mar. Pollution Bull.*, 49: 721-727.
967. Kurihara, H., Shimode, S. and Shirayama, Y. 2004. Effects of raised concentration of CO₂ on the life histories of marine organisms. *J. Oceanogr.*, 60(4): 743-750.
968. Matsubara, M., Komatsu, M. and Wada, H. 2004. Close relationship between *Asterina* and Solasteridae (Asterozoa) supported by both nuclear and mitochondrial gene molecular phylogenies. *Zool. Sci.*, 21: 785-793.
969. Kobayashi, N. and Okamura, H. 2004. Effects of heavy metals on sea urchin embryo development. 1. Tracing the cause by the effects. *Chemosphere*, 55: 1403-1412.
970. Migotto, A.E., Caobelli, J.F. and Kubota, S. 2004. Redescription and life cycle of *Eutima sapinhoa* Narchi and Hebling, 1975 (Cnidaria: Hydrozoa, Leptotheca): a hydroid commensal with *Tivela mactroides* (Born) (Mollusca, Bivalvia, Veneridae). *J. Nat. Hist.*, 38: 2533-2545.

971. Oiso, N., Fukai, K., Ishii, M., Okita, K. and Kubota, S. 2004. Systemic reaction associated with 'Iramo' scyphopolyp, *Stephanoscyphus racemosus* Komai. *Clinic. Experiment. Dermatol.*, 29: 681-682.
972. Shimanaga, M., Kitazato, H. and Shirayama, Y. 2004. Temporal patterns in diversity and species composition of deep-sea benthic copepods in bathyal Sagami Bay, central Japan. *Mar. Biol.*, 144: 1097-1110.
973. Shimode, S. and Shirayama, Y. 2004. Diel changes in vertical distribution of copepods community in Tanabe Bay, Japan. *J. Mar. Biol. Ass. U.K.*, 84: 607-615.
974. Takatori, N., Hotta K., Mochizuki Y., Satoh G., Mitani Y., Satoh N., Satou Y., and Takahashi H. 2004. T-box genes in the ascidian *Ciona intestinalis*: Characterization of cDNAs and spatial expression. *Dev. Dynamics*, 230: 743-753.

邦文業績

495. 久保田信. 2003. 南方系植物果実複数種の和歌山県白浜町番所崎への稀な漂着記録. 漂着物学会誌, 1: 31-32.
496. 久保田信. 2003. 和歌山県田辺湾およびその周辺海域から記録された有クラゲ類及び有櫛動物の目録—生活史上でのポリプとクラゲの結合. 瀬戸臨海実験所年報, 16: 30-35.
497. 久保田信. 2003. 和歌山県白浜町臨海“北浜”に打ち上がったミドリイガイ. 本覺寺籽貝, (41): 15-17.
498. 和田洋. 2003. ゲノムの多様性と形態の多様性. in 村上康文 編, ポストゲノムの分子生物学. 化学同人, 京都, pp. 65-78.
499. 和田洋. 2003. エンハンサーの進化. in 五條堀孝 編, ゲノムからみた生物の多様性と進化. シュプリンガーフェアラーク, 東京, pp. 50-57.
500. 檜山嘉郎・久保田信・戸部博・中西弘樹. 2003. 変わった型のココヤシの和歌山県白浜町番所崎への漂着記録. 漂着物学会誌, 1: 29-30.
501. 岸田拓士・森阪匡通・久保田信・天野雅男. 2003. 和歌山県白浜町番所崎の南浜にて発見されたハンドウイルカ *Tursiops truncatus*. 漂着物学会誌, 1: 25-28.
502. 足立文・崎山直夫・北田貢・久保田信. 2003. 江の島湘南港およびその周辺に出現する水母類-Ⅲ. 神奈川県自然誌資料, (24): 21-24.
503. 白山義久. 2004. 海洋生物の個体数調査と生物学への応用. バイオサイエンスとインダストリー, 62(9): 56-59.
504. 久保田信. 2004. コブシメ(コウイカ目、コウイカ科)の甲の和歌山県沿岸への4例目の漂着. 本覺寺籽貝, (42): 37-39.
505. 久保田信. 2004. 緑色のイガイ類にまつわる幾つかの話題. かいなかま, 38(1): 7-10.
506. 久保田信. 2004. 海面を滑走するアメンボの記録. KINOKUNI, (65): 9-10.
507. 久保田信. 2004. 秋季和歌山県産のサワガニ鉗脚の左右非対称について. くろしお, (23): 9-10.
508. 久保田信. 2004. 和歌山県白浜と紀伊大島間の海岸道路で事故死した3個体のホンダヌキ. くろしお, (23): 13.
509. 久保田信. 2004. 爬虫類を捕獲したイソヒヨドリ(ツグミ科). くろしお, (23): 52.
510. 久保田信. 2004. 和歌山県白浜町番所崎の通称“北浜”へ漂着した大形クラゲ類の異例な季節変化—前報との比較を含めた続報. 漂着物学会誌, 2: 25-28.
511. 久保田信. 2004. 瀬戸内海におけるカイヤドリヒドラクラゲ(ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目)の分布初記録. 日本生物地理学会会報, 59: 71-74.
512. 久保田信. 2004. 対馬浅茅湾のクラゲ類. 長崎県生物学会誌, (57): 13-15.
513. 久保田信・梅本信也. 2004. 沖縄県西表島における細長型ココヤシ果実の漂着. 漂着物学会会報(どんぶらこ), (10): 3.
514. 久保田信・岡村親一郎・湊宏・中西弘樹. 2004. 和歌山県田辺湾周辺海域に最近漂着したモダマ(マメ科)の種子. 漂着物学会会報(どんぶらこ), (9): 2.

515. 久保田信・田名瀬英朋. 2004. サケガシラ(フリソデウオ科)の和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸への出現記録. 南紀生物, 46(1): 61-62.
516. 久保田信・田名瀬英朋. 2004. フジツボ類が付着した生きたハナマルユキダカラガイの3例目の個体. くろしお, (23): 38.
517. 久保田信・永益英敏・中西弘樹. 2004. イルカ(マメ科)種子の本州への漂着初記録. 南紀生物, 46(1): 37-38.
518. 久保田信・河村真理子. 2004. 稀にしか出現しない和歌山県田辺湾周辺海域におけるオオタマウミヒドラ *Hydrocoryne miurensis* (花クラゲ目, オオタマウミヒドラ科)のポリプとクラゲ. 南紀生物, 46(2): 165-166.
519. 久保田信・岸田拓士・中口和光・郷秋雄. 2004. 奄美大島付近で船の舳先に出現したイルカ(マイルカ科). 勇魚, (41): 92-93.
520. 宮崎勝己・Pass, G. 2004. フタツメイソウミグモ *Ammothella biunguiculata* の循環器官系: その形態と機能. Proc. Arthropod. Embryol. Soc. Jpn., 39: 53-54.
521. 田名瀬英朋・久保田信. 2004. 和歌山県田辺湾から採集されたクマドリ(魚類, モンガラカワハギ科). 南紀生物, 46(1): 65-66.
522. 小林亜玲・上野俊士郎・河原正人・久保田信. 2004. 日本海南部沿岸におけるカイヤドリヒドラ類(ヒドロ虫綱, 軟クラゲ目)の分布初記録. 日本生物地理学会会報, 59: 41-44.
523. 上野俊士郎・池田至・藤井直紀・野田幹雄・久保田信. 2004. w3-HUFA を用いて栄養強化したアルテミア幼生の投与によるアマクサクラゲの未成熟クラゲへの成長効果. 南紀生物, 46(1): 69-70.
524. 淤見慶宏・土生紳吾・久保田信. 2004. 軟体部が残存したまま採集された本州初記録のヒナメダカラ(軟体動物門, 腹足類, タカラガイ科). 南紀生物, 46(1): 71-72.
525. 榎山嘉郎・田名瀬英朋・久保田信. 2004. フリソデウオ科生体の和歌山県沿岸の出現記録. 漂着物学会誌, 2: 31-32.
526. 岸田拓士・久保田信・小林亜玲・田名瀬英朋. 2004. 和歌山県白浜町番所崎先端の浜に漂着したコマッコウ科鯨類について. 漂着物学会誌, 2: 33-34.
527. 三宅裕志・Lindsay, D.J., 久保田信. 2004. 北海道西沖後志海山南側斜面で見られた中・深層および近底層生物. JAMSTEC 海洋科学技術センター深海研究, (24): 37-42.
528. 山田豊隆・武田曜男・久保田信. 2004. クラゲ類の浮遊固化標本の試作検討. くろしお, (23): 23-26.

その他の著作

- 白山義久. 2003. 海産線虫. in 日本線虫学会 編, 線虫学実験法. 日本線虫学会, つくば, pp. 187-194.
- 白山義久(分担執筆). 2003. 生態学事典. 巖佐庸・松本忠夫・菊沢喜八郎 編, 共立出版, 東京.
- 久保田信. 2003. 日本の唄の歌詞に登用されたクジラ目の曲とその心. 勇魚, (39): 57-61.
- 久保田信. 2003. 私の持っているクジラ類の本-その1. 勇魚だより, (70): 2-3.
- 和田洋(訳). 2003. 4章 ツールキットの進化. in 上野直人・野地澄晴 監訳, DNA から解き明かされる形づくりと進化の不思議. 羊土社, 東京, pp. 101-122.
- 白山義久. 2004. 海の底の百面相. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海のつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 28-29.
- 白山義久. 2004. 海洋生物のセンサス(個体数調査). in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海のつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 37-39.
- 白山義久. 2004. フィールド科学教育研究センター創設記念行事. FSERC News, (1): 2.
- 白山義久. 2004. NaGISA プロジェクト. FSERC News, (1): 3-4.
- 白山義久(分担執筆). 2004. 生態学入門. 日本生態学会 編, 東京化学同人, 東京.
- 久保田信. 2004. 不老不死のクラゲに人類の夢を託す. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド

- ド科学教育研究センター 編, 森と里と海をつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 32-33.
- 久保田信. 2004. 私の持っているクジラ類の本-その2 & 3. 勇魚だより, (71): 2-3.
- 久保田信. 2004. 私の持っているクジラ類の本-その4. 勇魚だより, (73): 3-4.
- 久保田信. 2004. 海洋生物が日本の唄の歌詞に登場する曲の補遺. くろしお, (23): 11-13.
- 久保田信. 2004. 歌詞に陸生無脊椎動物(昆虫類を除く)が登用された日本の唄. くろしお, (23): 14.
- 久保田信・田名瀬英朋. 2004. 漂着物は語る-海からの贈り物-. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海をつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 34-36.
- 大和茂之. 2004. フジツボ類の「性」. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海をつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 30-31.
- 宮崎勝己. 2004. 文科省 SPP 事業による尼崎小田高校臨海実習(於瀬戸臨海実験所)実施報告. FSERC News, (2): 2-3.
- 宮崎勝己・大和茂之. 2004. 海の動物の多様性について. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海をつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 16-21.
- 和田洋. 2004. 生命進化史の一大イベント 脊椎動物の誕生. in 京都大学総合博物館・京都大学フィールド科学教育研究センター 編, 森と里と海をつながり 京大フィールド研の挑戦. 大伸社, 大阪, pp. 26-27.
- 佐藤剛毅. 2004. Eco-Devo-Evo(生態-発生-進化) -進化学の新たなトレンド- 日本進化学会ニュース, 5(1): 8-9.

新聞連載記事

- 久保田信. 宝の海から 1 「隠された謎がいっぱい」 紀伊民報, 2003. 10. 21付
- 久保田信. 宝の海から 2 「北限の貝も多く」 紀伊民報, 2003. 10. 28付
- 久保田信. 宝の海から 3 「海は生命のふるさと」 紀伊民報, 2003. 11. 4付
- 久保田信. 宝の海から 4 「ベニクラゲは人類の遺産」 紀伊民報, 2003. 11. 11付
- 久保田信. 宝の海から 5 「若返りの鍵は(小さな大人)」 紀伊民報, 2003. 11. 18付
- 久保田信. 宝の海から 6 「ポリプ田辺湾では日本一の共生率」 紀伊民報, 2003. 11. 25付
- 久保田信. 宝の海から 7 「小さな大人ミッシングリンク」 紀伊民報, 2003. 12. 2付
- 久保田信. 宝の海から 8 「異例の大量漂着-暖冬の背後に地球温暖化-」 紀伊民報, 2003. 12. 9付
- 久保田信. 宝の海から 9 「今秋、北浜のクラゲにも異変」 紀伊民報, 2003. 12. 16付
- 久保田信. 宝の海から 10 「エチゼンクラゲ日本来襲」 紀伊民報, 2003. 12. 23付
- 久保田信. 宝の海から 番外編 「SF小説 若返り-奇跡の妙薬ベニクラゲ」 紀伊民報, 2004. 1. 1付
- 久保田信. 宝の海から 11 「時の刻みを感覚器に」 紀伊民報, 2004. 1. 13付
- 久保田信. 宝の海から 12 「田辺湾はヒドロクラゲの宝庫」 紀伊民報, 2004. 1. 20付
- 久保田信. 宝の海から 13 「夜しばむイソギンチャク」 紀伊民報, 2004. 1. 27付
- 久保田信. 宝の海から 14 「打ち上がる「ガラス細工」」 紀伊民報, 2004. 2. 3付
- 久保田信. 宝の海から 15 「弱いクシクラゲ類の護身術」 紀伊民報, 2004. 2. 10付
- 久保田信. 宝の海から 16 「泳力無くしたクラゲムシ」 紀伊民報, 2004. 2. 20付
- 久保田信. 宝の海から 17 「田辺湾に謎の大量漂着」 紀伊民報, 2004. 2. 24付
- 久保田信. 宝の海から 18 「幻の種64年ぶりに出現」 紀伊民報, 2004. 3. 2付
- 久保田信. 宝の海から 19 「半世紀で白浜町海岸に8種」 紀伊民報, 2004. 3. 9付
- 久保田信. 宝の海から 20 「シロナガスが綱不知へ迷込」 紀伊民報, 2004. 3. 16付
- 久保田信. 宝の海から 21 「白良浜にコビレゴンドウ」 紀伊民報, 2004. 3. 23付
- 久保田信. 宝の海から 22 「北浜での漂着と産卵」 紀伊民報, 2004. 3. 30付